

基本目的Ⅰ 安全と環境

「危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち」

◆ 〇 1 防災

施策目的 防災意識や危機対応能力を高め、
自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる

◆ 〇 2 防犯

施策目的 地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる

◆ 〇 3 自然環境

施策目的 人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる

◆ 〇 4 ごみ・資源

施策目的 ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	1	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	安全安心課	危機管理・国土強靱化係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
9・1・4	防災関係				40,763千円	38,861千円	34,781千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 1_防災意識の向上による防災組織の育成
施策の方向	▶ 8_国土強靱化計画を踏まえた備蓄の確保

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自助・共助・公助が一体となり、防災意識や危機管理対応力の高い災害に強いまちづくりを推進する。 ・大規模自然災害に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取り組みとして計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進する。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①防災関係事業【重要事業】

- ・防災士が地域の地域防災の活性化を支援し、安全・安心なまちづくりに寄与することを側面的に支援する。
- ・災害に備え、必要な備蓄品等を購入し、防災体制の充実を図る。
- ・防災情報伝達システムの運用により、情報伝達手段の多様化を図る。
- ・大規模地震時における出火防止を目的に、感震ブレーカーの普及促進を図る。
- ・避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難を図るために、個別避難計画を作成する。
- ・出前講座等でハザードブックを活用し、「自助」及び「共助」の防災に対する取組を推進する。
- ・4か国語翻訳したハザードブックの普及を通じて、外国人に対しても災害リスクの高い箇所の周知を図る。
- ・自主防災組織への資機材整備等に係る補助や地区防災計画の作成支援を行い、地域の防災力向上を図る。
- ・強靱化計画の推進に向けて事業の進捗管理を行うほか、市民と事業者、行政による協力体制を構築していく。
- ・災害時用トイレ物品及び毛布の整備により、災害時の避難生活環境の改善を図る。【新規事業】

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	①防災関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・防災士連絡会補助金 ・備蓄食料・消耗品等の購入 ・防災情報伝達システムの運用 ・感震ブレーカー等設置費補助 ・ハザードブックを活用した防災意識の普及啓発 ・自主防災組織の敷材整備等の補助 ・個別避難計画の作成 	①防災関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・防災士連絡会補助金 ・備蓄食料・消耗品等の購入 ・防災情報伝達システムの運用 ・感震ブレーカー等設置費補助 ・ハザードブックを活用した防災意識の普及啓発 ・自主防災組織の敷材整備等の補助 ・個別避難計画の作成 	①防災関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・防災士連絡会補助金 ・備蓄食料・消耗品等の購入 ・防災情報伝達システムの運用 ・感震ブレーカー等設置費補助 ・ハザードブックを活用した防災意識の普及啓発 ・自主防災組織の敷材整備等の補助 ・個別避難計画の作成
	事業費	34,781	36,281	36,281
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	3,782	1,512	1,512
	一般財源	30,999	34,769	34,769

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	自主防災組織の組織率	92.42	目標値	92.42	93.93	95.45	98.48	100
		単位：%	実績値	92.42	93.93	93.93	93.93	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	34,667千円	令和6年度決算額	31,444千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①防災関連事業【重要】 ・防災士連絡会会員数 令和4年度：100人 令和5年度：106人 令和6年度：105人 ・備蓄食料数 令和4年度：143,955食 令和5年度：164,010食 令和6年度：180,694食 ・情報伝達手段の多様化を図る 令和4年度：たてばやし防災情報伝達システム登録者数 10,303人 令和5年度：たてばやし防災情報伝達システム登録者数 10,017人 令和6年度：たてばやし防災情報伝達システム登録者数 9,584人 ・感震ブレーカー等設置費補助 令和4年度：8件、240千円 令和5年度：35件、966千円 令和6年度：26件、740千円 ・ハザードブック作成 令和4年度：改定 令和5年度：外国語版（4か国語）作成 ・個別避難計画作成数 令和4年度：9件 令和5年度：39件 令和6年度：3件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・地域防災計画に基づき、総合的な防災・減災対策の推進が図られた。				
課題	・地域防災力を高めるための自助・共助の促進と公助の強化が必要である。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・自助・共助の促進と公助の強化について、各方面から検討し推進していく。				
令和8年度 事業計画	・市防災士連絡会活動支援 ・備蓄の推進 ・防災意識の啓発 ・防災情報伝達システムの運用 ・自主防災組織活動支援 ・個別避難計画の作成				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	2	重要事業		総合戦略		担当部署	道路河川課 維持係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・3・1	河川水路維持管理				24,927千円	26,456千円	30,012千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 2_危険箇所の早期発見による安全確保

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内における移動手段および排水機能の確保のため、都市基盤となる河川及び水路等の施設を適正に維持管理し、市民生活における利便性の向上と安全性を確保する。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

河川水路維持管理
排水機能を確保するための施設の維持管理（除草、清掃）
施設の老朽化や破損に伴う補修工事（排水構造物、防護柵等）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）		河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）	河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）
	事業費	30,012	26,500	26,500
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	30,012	26,500	26,500

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	補修等要望件数	79	目標値	76	75	73	72	70
		単位：件	実績値	47	114	105	105	
活動指標	河川、水路の点検実施件数	0	目標値	21	32	42	53	64
		単位：件	実績値	9	10	10	10	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	30,012 千円	令和6年度決算額	29,616 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	維持管理実施延長 令和4年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路3河川の除草および河床の清掃 令和5年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路2河川の除草および河床の清掃 令和6年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路4河川の除草および河床の清掃			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	維持管理に必要な業務の実施時期を適切に管理し、補修要望等の件数を減少させることができた。					
課題	・ 全長L=62,827mにおよぶ河川、水路への堆積土砂の増加による排水機能の低下 ・ 地球温暖化に伴う草木の生育速度が著しい。水路の流下能力を阻害するため、排除すべきだが、既定の予算、人員では、必要な浚渫・除草ができない。出水時の脅威となっている。 ・ 多様なニーズに対応するための維持管理費用の増加					
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	日本の人口動態として人口減少・少子高齢化が継続している中、とりわけ建設業界に至っては他の産業と比較しても人員の確保が厳しいと言われている。効率的な維持管理システムの構築が急務だが、安全確保という観点から、業務、施工箇所の選別が必要となる。					
令和8年度 事業計画	河川水路維持管理 排水機能を確保するための施設の維持管理（除草、清掃） 施設の老朽化や破損に伴う補修工事（排水構造物、防護柵等） 維持管理業務（除草）の経費削減するための防草工事					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	3	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・3・2	幹線排水路整備事業			58,724千円		30,320千円	44,601千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶4_排水施設整備による被害防止

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	雨水の急激な流出・冠水を抑制し、排水機能を強化するため、準用河川・幹線排水路などの排水施設について多角的かつ経済的に整備改修し災害を未然に防ぐ。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
幹線排水路整備事業【重要事業】	
①宮田2号幹線排水路整備事業 調整池掘削 500㎡ 完成済の設計結果に基づき、用地買収が完了し調整池掘削及び工事用搬入路を築造中だが、大規模調整池を含む排水路完成までには多大な費用と時間を要する。このことから、調整池掘削（土工のみ）を行うなど、比較的安価な方策から実施し効果を見極めたうえで、事業を推進する方針とする。	
②準用河川茂林寺川浚渫 1,290m 準用河川茂林寺川は館林市の南部に位置し、上流域が市街化区域に位置していることもあり氾濫等が発生した場合の被害は大きい。昭和の終期に整備されて以来、毎年の除草対応はしているものの、浚渫は一度も行われておらず、断面が阻害されている状況が見受けられる。早期の流下能力（断面）確保のための経済的かつ効果的な対策として浚渫を実施し、事後効果を検証するものとする。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	44,601	50,000	50,000
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	36,300	14,500	0
	その他	0	0	0
財源		一般財源 8,301	35,500	50,000

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	準用河川及び幹線排水路の整備率	78.4	目標値	78.5	78.5	78.6	78.7	78.8
		単位：%	実績値	78.5	78.5	78.5	78.5	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	44,601千円	令和6年度決算額	41,269千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	工事 準用河川宮田川：令和4年度1,062.0m（管理用通路舗装） 宮田2号幹線排水路（搬入路）：令和4年度…66.2m 宮田2号幹線排水路（調整池）：令和5年度1082.6m ² 、令和6年度500.0m ² 宮田2号幹線排水路（浚渫）：令和4年度165.0m、令和5年度385.0m 準用河川蛇沼川（浚渫）：令和4年度200.9m、令和5年度630.0m 準用河川茂林寺川（浚渫）：令和6年度1290.0m 用地費 令和4年度359.68m ² 、令和5年度927.65m ²			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	準用河川宮田川は、これまでに河道改修や調整池の設置を行い、豪雨等による上流域の越水被害を削減している。 宮田2号幹線排水路は用地買収が完了し、今後の調整池掘削とともに、着工が未だ先となる箇所の浚渫等により、冠水被害の早期低減が期待できる。				
課題	宮田2号幹線排水路流域は狭隘な道路が多いため、本事業のみならず道路拡幅事業も必要となる。また、調整池掘削土運搬にあたっては同様に不都合を生じる。今後方策を検討する。				
【Action】 今後の 方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	準用河川宮田川は、一級河川谷田川へ放流する排水機場から市道2級26号線までを1工区として令和4年度の河川管理用通路舗装をもって一旦終完了した。今後、豪雨時の状況を注視・確認するものとする。 宮田2号幹線排水路整備は、調整池掘削工事を計画的に実施していく。 また、既成の準用河川や水路について浚渫を行い、流下能力の保全に努める。				
令和8年度 事業計画	宮田2号幹線排水路整備事業 調整池掘削工事 中島幹線排水路測量・水路予備設計				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	4	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課	住宅施設係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・6・1	空家対策関係				3,972千円		3,972千円	3,984千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策目的	▶02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶5_総合的な空き家対策の推進
施策の方向	▶3_空き家の適正管理

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	空き家所有者の自発的な空き家除却を促進し、地域の住環境改善を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
空家対策関係事業【重要事業】 ・ 空き家除却助成金 良好で快適な生活環境の形成を図るために、防災・防犯上危険な空き家を所有する者が、その空き家を除却する場合に、市が除却費用の一部を助成する。 ・ 空き家等の適正管理指導 空き家の周辺住民に影響を及ぼしている空き家所有者等に対し、適切な管理を促すため、情報の提供及び助言等を行うもの。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知	空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知	空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知
事業費		3,984	3,984	3,984
財源	国庫	900	900	900
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,084	3,084	3,084

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	空き家除却助成金利用件数（累計）	4	目標値	13	26	39	52	65
		単位：件	実績値	17	26	46	62	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和 6 年度予算額		4, 560 千円		令和 6 年度決算額		4, 480 千円			
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	主な事業								
	・ 令和 4 年度 空き家除却助成金		実績	不良住宅	2件				
				準不良住宅	7件				
	・ 令和 5 年度 空き家除却助成金		実績	不良住宅	1件				
				準不良住宅	19件				
	・ 令和 6 年度 空き家除却助成金		実績	不良住宅	3件				
			準不良住宅	13件					

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>空き家除却助成金制度の認知度が上がり、除却に係る相談や申請の件数が増加しており、除却助成金制度を継続することで、空き家所有者の関心を高めることが期待できる。</p> <p>その他適正管理に関しては、庁内関係課（地球環境課等）との協力体制を強化することで効果を向上させた。</p>					
課題	<p>空家対策に関しては適正管理と利活用を同時に進めていくことが望ましいが、どちらも思うように進まないのが現状である。その理由としては、適正管理に関しては、所有者の資金難や高齢化、さらには相続や所有者不明等の問題があり、利活用に関しては、立地面や建物の耐震性等の問題がある。また、空家は所有者等の個人の財産であることから、所有者等において適切な管理に努める責任があるため、行政の力だけで問題を解決するのは困難な状況である。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	<p>市内には相当数の空き家が存在することから、継続的に事業を行う必要があります。</p>					
令和8年度 事業計画	<p>・ 空き家除却助成金 3,800,000円 上限600,000円× 3件＝1,800,000円 上限200,000円× 10件＝2,000,000円</p>					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和 6 年度事業】実施計画書

整理番号	5	重要事業		総合戦略		担当部署	建築課	建築指導係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・6・2	建築指導				4,381千円	4,371 千円	4,358千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 7_災害予防のための環境整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	建築基準法に基づく確認審査や検査事務等を適正に行い、安全で安心なまちづくりを目指す。
----------------	--

令和 6 年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

建築確認

- ・ 建築確認申請の審査及び検査を行う。
- ・ 指定確認検査機関からの報告書等を受理し審査する。
- ・ 設計者や指定確認検査機関等からの相談に応じる。
- ・ 建築基準法に基づく定期報告の審査及び違反建築物の是正指導を行う。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業 スケジュール	建築確認	建築確認	建築確認	建築確認
	事業費	4,358	4,358	4,358
	国庫	0	0	0
	県費	57	57	57
	市債	0	0	0
財源	その他	4,301	4,301	4,301
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	中間検査率	82.1	目標値	100	100	100	100	100
		単位：%	実績値	81	100	110	83.3	
活動指標	完了検査率	97.6	目標値	100	100	100	100	100
		単位：%	実績値	83.1	114.5	87.7	81.1	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額		7,086 千円	令和6年度決算額		6,874 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ 建築確認申請受付件数（建築物）					
	年度	市受付分	指定確認検査機関受付分			
	令和6年度	55件	259件			
	令和5年度	57件	233件			
	令和4年度	62件	319件			
	・ 中間検査実施件数（建築物、市受付分のみ）					
	年度	対象件数	実施件数	検査率		
	令和6年度	12件	10件	83.3%		
	令和5年度	10件	11件	110.0%		
	令和4年度	14件	14件	100.0%		
	・ 完了検査実施件数（建築物、市受付分のみ）					
	年度	対象件数	実施件数	検査率		
	令和6年度	53件	43件	81.1%		
令和5年度	57件	50件	87.7%			
令和4年度	62件	71件	114.5%			
※中間検査及び完了検査の検査率は、年度をまたぐ工事があるため率が100%を超える年度がある。						

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	特定行政庁として建築基準法に基づく建築確認等の事務を行っている。				
課題	建築確認に係る業務については、指定確認検査機関が担う役割が大きくなっている。本市建築確認受付件数の減少に伴い審査等の経験を積む機会が減少する中、窓口相談や指定確認検査機関からの報告書の審査、多様化する建築法規等に適確に対応するための知識能力の維持向上が課題となっている。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<p>・円滑かつ適確な窓口対応をするため、関係法令等の理解度向上に向けた研鑽を行う。</p> <p>・建築基準法に基づき業務を遂行しているため、法改正等への対応及び法の適切な運用を行う。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>建築確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築確認申請の審査及び検査を行う。 ・指定確認検査機関からの報告書等を受理し審査する。 ・設計者や指定確認検査機関等からの相談に応じる。 ・建築基準法に基づく定期報告の審査及び違反建築物の是正指導を行う。 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	6	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課	建築指導係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
8・6・2	住宅・建築物耐震改修等事業				3,181 千円	3,698千円	3,686千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 7_災害予防のための環境整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地震による木造住宅及びブロック塀の倒壊等の被害から市民の命と財産を守る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
住宅・建築物耐震改修等事業【重要事業】	
・木造住宅耐震診断者派遣事業 木造住宅耐震診断者による耐震性診断を実施し結果を通知する。	
・木造住宅耐震改修補助事業 耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事を行い、「一応倒壊しない」までの基準に住宅を改修した方に補助金を交付する。	
・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震シェルターや耐震ベッドなどの設置により圧死を防ぎ地震被害を軽減する施策を行った方に補助金を交付する。	
・ブロック塀等撤去費補助事業 道路等に面する危険なブロック塀等を撤去する方に補助金を交付する。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	住宅・建築物耐震改修等事業【重】		住宅・建築物耐震改修等事業【重】	住宅・建築物耐震改修等事業【重】
	事業費	3,686	3,686	3,686
	国庫	1,842	1,842	1,842
	県費	695	695	695
	市債	0	0	0
財源	その他	540	540	540
	一般財源	609	609	609

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	木造住宅耐震診断戸数	7	目標値	25	25	25	25	20
		単位：戸	実績値	4	8	12	13	
活動指標	木造住宅耐震改修補助戸数	0	目標値	1	1	2	2	1
		単位：戸	実績値	0	1	0	0	
活動指標	木造住宅耐震シェルター等設置補助戸数	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：戸	実績値	0	0	0	0	
活動指標	ブロック塀等撤去費補助件数	2	目標値	10	10	10	10	6
		単位：件	実績値	2	3	1	3	

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	3,686 千円	令和6年度決算額	637 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<div> <div>・木造住宅耐震診断者派遣事業</div> <div>令和6年度：13件</div> <div>令和5年度：12件</div> <div>令和4年度：8件</div> </div> <div> <div>・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業</div> <div>令和6年度：0件</div> <div>令和5年度：0件</div> <div>令和4年度：0件</div> </div> <div> <div>・木造住宅耐震改修補助事業</div> <div>令和6年度：0件</div> <div>令和5年度：0件</div> <div>令和4年度：1件</div> </div> <div> <div>・館林市ブロック塀等撤去工事補助事業</div> <div>令和6年度：3件</div> <div>令和5年度：1件</div> <div>令和4年度：3件</div> </div>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D			
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	大規模地震による被害を減少させるために必要な事業ではあるが、補助件数の実績が伸びない。			
課題	耐震改修工事を実施するには多額の費用を要するため、耐震診断を実施しても耐震改修工事までには至らない。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	「館林市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」に基づき、住宅所有者に対する耐震化普及啓発・補助制度についての案内等を行う。			
令和8年度 事業計画	<div> <div>・木造住宅耐震診断者派遣事業</div> <div>: 20件</div> </div> <div> <div>・木造住宅耐震改修補助事業</div> <div>: 1件</div> </div> <div> <div>・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業</div> <div>: 1件</div> </div> <div> <div>・館林市ブロック塀等撤去工事補助事業</div> <div>: 6件</div> </div>			
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小			
備考				

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	7	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
下水道事業会計	管渠管理費（公共）			17,373 千円	17,614 千円	17,938 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め.自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道管きよを市民が安全安心に利用できるよう、定期的な清掃業務や点検・補修といった維持管理に努める。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草
	事業費	17,938	17,938	17,938
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	17,938	17,938	17,938
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	汚水管きよ清掃延長	1,622	目標値	2,081	2,311	2,540	2,770	3,000
		単位：m	実績値	2,523	2,339	2,659	6,086	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	17,938 千円	令和6年度決算額	13,015 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	修繕費	
	令和4年度	3,971千円	7,039千円	
	令和5年度	4,147千円	4,037千円	
	令和6年度	4,730千円	8,107千円	
	R6：汚水管清掃業務委託、雨水きょ除草業務委託、下水道マンホール蓋等修繕 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	管きよの維持管理は、汚水管きよ及び雨水きよの定期的な維持補修が必須であり、継続させる必要がある。					
課題	下水管きよに土砂等がたまり、汚水や雨水の流れを妨げることはないよう、定期的な清掃・点検・補修が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・ 定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。					
令和8年度 事業計画	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	8	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
下水道事業会計	ポンプ場管理費（公共）			6,201 千円	7,033 千円	6,572 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる ▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	尾曳污水中継ポンプ場、高根污水中継ポンプ場については、自然流下のため各ポンプ施設で高所に下水を汲み上げている。多々良沼雨水ポンプ場については、農繁期において多々良沼からの揚水、又大雨時に多々良沼への排水としての役割がある。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 ・高根・尾曳污水中継ポンプ場機器修繕 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	6,572	6,572	6,572
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	6,572	6,572	6,572
財源		一般財源	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	6,572 千円	令和6年度決算額	2,921 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	修繕費	
	令和4年度	1,166千円	一千円	
	令和5年度	1,166千円	一千円	
	令和6年度	1,166千円	一千円	
	R6：多々良沼雨水ポンプ場維持管理業務委託 等 (尾曳・高根中継ポンプ場の運転管理は、水質管理センター包括業務委託に含む。)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	汚水の中継する施設及び雨水を揚水・排水する施設の維持管理は、適切な汚水、雨水処理のために継続的に必要である。				
課題	平成18年に供用開始された高根汚水中継ポンプ場は比較的修理や補修は少ないものの、昭和61年に供用開始された尾曳汚水中継ポンプ場については、施設の老朽化が課題となっている。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)				
	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。 尾曳・高根中継ポンプ場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。 				
令和8年度 事業計画	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託の継続（公共下水道処理施設） ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	9	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
下水道事業会計	管渠整備費（公共）			475,565 千円	459,476 千円	461,161 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶4_排水施設整備による被害防止
	▶5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	衛生的で快適な生活環境の向上及び河川や沼の水質保全に寄与するため、汚水きよの整備を計画的に進める。また、発生が懸念される集中豪雨による浸水被害を防止するべく、雨水きよの整備を計画的に進め、安全安心なまちをつくる。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
管きよ整備費（公共）【重要事業】	
①汚水きよの整備（分福地域し尿処理施設の統廃合）	
②雨水きよの整備	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	管きよ整備費（公共）【重】 ①汚水きよの整備 ②雨水きよの整備	管きよ整備費（公共）【重】 ①汚水きよの整備 ②雨水きよの整備	管きよ整備費（公共）【重】 ①汚水きよの整備 ②雨水きよの整備
	事業費	461,161	461,161	461,161
	財源			
	国庫	177,560	177,560	177,560
	県費	0	0	0
財源	市債	242,100	242,100	242,100
	その他	41,501	41,501	41,501
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	公共下水道雨水きよの整備率	74.4	目標値	74.8	75.0	75.2	75.4	75.6
		単位：%	実績値	70.2	70.6	71.1	71.3	
総合計画指標	下水道水洗化率	89.6	目標値	90.2	90.5	90.8	91.1	91.4
		単位：%	実績値	90.8	91.0	91.6	92.0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	531,290 千円	令和6年度決算額	430,546 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年				
		委託料	工事請負費	
	令和4年度	47,349千円	343,562千円	
	令和5年度	40,315千円	441,213千円	
	令和6年度	100,100千円	329,461千円	
	R6：污水管きょ実施設計業務委託、污水管築造工事、污水幹線築造工事、雨水幹線築造工事 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	未整備地区の整備が必要なうえ、今後は耐用年数（50年）を経過する管きょが急速に増加してくる。管きょの老朽化は社会的影響も大きいため、早急な対応が必要であり、管路ストックマネジメント計画に基づき調査、点検、改築事業を計画的に進める必要がある。					
課題	市民の日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生等を未然に防ぐため、調査、点検を実施し、予防保全型の計画的、効率的な維持管理を進めていく。施設の健全度により、多額の改築費が必要となってくる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・下水道管きょの整備及び下水道の維持・更新を効率的に推進していく。					
令和8年度 事業計画	①汚水きょの整備 ②雨水きょの整備					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	10	重要事業	○	総合戦略		担当部署	安全安心課 交通防犯係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
2・1・12	防犯関係事業				20,415千円	22,673千円	20,670千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶ 2_防犯意識の向上による防犯環境形成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	犯罪の発生を未然に防止し、市域の治安の向上を図るため、防犯啓発やパトロール等を行う。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①防犯関係事業【重要事業】	
・LED防犯灯設置	行政区からの要望により、LED防犯灯を設置。 リース切れ防犯灯における修繕対応
・防犯カメラ設置費補助	各行政区が設置する防犯カメラ設置費用の一部を補助【新規事業】
・防犯関連団体補助	館林警察署管内防犯協会、被害者支援センターすてっぷぐんま、館林市防犯協会等に対し活動費を補助。
・特殊詐欺対策機器購入費補助	高齢者の特殊詐欺被害の未然防止を目的に、特殊詐欺対策機器購入者に補助金を交付。
・犯罪被害者支援等見舞金	犯罪被害者等が犯罪等により受けた被害に係る経済的負担の軽減を図るため犯罪被害者等に対する見舞金を支給【新規事業】

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①防犯関係事業【重】 ・LED防犯灯設置 ・防犯カメラ設置費補助【新】 ・防犯関連団体補助 ・特殊詐欺対策機器購入費補助金 ・犯罪被害者等見舞金【新】	①防犯関係事業【重】 ・防犯カメラ設置費補助 ・防犯関連団体補助 ・特殊詐欺対策機器購入費補助金 ・犯罪被害者等見舞金	①防犯関係事業【重】 ・防犯カメラ設置費補助 ・防犯関連団体補助 ・特殊詐欺対策機器購入費補助金 ・犯罪被害者等見舞金 ・LED防犯灯更新
事業費		20,670	20,560	22,678
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,000	1,000	1,000
	一般財源	19,670	19,560	21,678

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	刑法犯認知件数 ※数値は年集計	602	目標値	586	569	553	536	520
		単位：件	実績値	537	502	550	607	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	20,670 千円	令和6年度決算額	15,362 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①防犯関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・LED防犯灯設置実績 令和4年度：100灯 令和5年度：100灯 令和6年度：100灯 累計6,502灯 ・防犯カメラ設置実績 令和4年度：1基 令和5年度：4基 ・市防犯協会補助金実績 令和4年度：会員数 1,600人 350,000円 令和5年度：会員数 1,542人 350,000円 令和6年度：会員数 1,532人 350,000円 ・特殊詐欺対策機器購入費補助実績 令和4年度：9件 52,000円 令和5年度：11件 48,000円 令和6年度：2件 10,000円 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・関係機関・団体と連携した防犯対策・活動を行ったが、社会情勢の変化も影響し、刑法犯認知件数は増加傾向にある。					
課題	・社会情勢の変化に対応した新たな防犯対策・活動が求められている。 ・LED防犯灯の老朽化に伴う課題について検討する必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・新たな防犯対策の推進。					
令和8年度 事業計画	・防犯カメラ事業 ・特殊詐欺対策事業 ・防犯灯整備事業 ・市防犯協会活動支援					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	11	重要事業		総合戦略		担当部署	市民協働課 市民相談係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
7・1・7	消費生活センター運営管理			10,694千円	10,868千円	12,138 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶ 1_啓発と相談体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民の消費生活における被害防止・安全確保のため、相談及び指導等を行う。
----------------	-------------------------------------

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①消費生活センター運営
 - ・相談及び苦情の処理
 - ・対処方法の助言、指導
 - ・被害救済のための斡旋
 - ・国データベースへの処理結果登録
 - ・立入検査の実施等
- ②消費者教育・啓発
 - ・出前講座の開催
 - ・啓発資料の作製、配布
 - ・注意喚起情報の発信等

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発	①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発 ③国の新システム導入に伴う機器等の整備	①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発 ③国の新システム運用開始
	事業費	12,138	12,958	12,138
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	107	155	107
	市債	0	0	0
	その他	52	52	52
	一般財源	11,979	12,751	11,979

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	消費生活センター出前講座回数	17	目標値	18	18	19	19	20
		単位：回	実績値	8	11	10	10	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	11,046千円	令和6年度決算額	9,472千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■消費生活に関する相談件数 令和4年度 583件 令和5年度 612件 令和6年度 621件</p> <p>■消費生活センター出前講座実施回数 令和4年度 11回 令和5年度 10回 令和6年度 10回</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	□ 高	成果が高水準にあ る	■ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>前年度の実施回数と同様の10回であり、目標には届かなかったが、出前講座は地域包括支援センターの家族介護者教室、公民館の高齢者教室や女性セミナーなどで開催し、効果的な消費者教育の場となっており、参加者から高い満足度が示され、効果的な成果が得られたものと捉えている。□</p> <p>□</p> <p>□</p>				
課題	<p>・手口が巧妙化する消費者トラブルや特殊詐欺が増えている中、被害を未然に防ぐための啓発や情報提供がますます必要となっている。</p> <p>・成年年齢が18歳に引下げによる社会経験の浅い若年層、及び高齢者の不安（健康・お金・孤独）をあおる消費生活のトラブルが今後も増えていくことが懸念されるため、消費生活相談体制の充実が求められている。</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p>■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止（□ 一部廃止）</p>				
	<p>・デジタル化を背景に手口が巧妙化する消費者トラブルや特殊詐欺が増えている。そのため被害を未然に防ぐために、SNS等を活用したリアルタイムな啓発活動を行うとともに相談業務を強化することで、市民生活の安全性の確保に努める必要がある。</p> <p>・社会経験の浅い若年層の啓発を進めていくため、小中学校長会議の際に、出前講座の広報活動を行い、実施回数を増やしていく。また、理解力に問題のある障がい者、高齢者の不安（健康・お金・孤独）を背景とした消費生活のトラブルが今後も増えていくことが懸念されるため、福祉部門との連携を進めていく必要がある。</p> <p>・現在の相談体制を維持するためには、今後も引き続き、相談員の技術力向上のための研修の機会を確保しながら相談体制を充実させていく必要がある。</p>				
令和8年度 事業計画	<p>①消費生活センター運営（相談及び苦情の処理、対処方法の助言・指導、被害救済のための斡旋、国データベースへの処理結果登録、立入検査の実施等）</p> <p>②消費者教育・啓発（出前講座の開催、啓発資料の作製・配布、注意喚起情報の発信等）</p> <p>③国の新システム導入に伴う機器等の整備（消費者庁「消費生活相談デジタル・トランスフォーメーションアクションプラン」として、令和8年度のシステム本格稼働に向け、DX化を推進する）</p>				
予算規模 見込み	<p>■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較</p>				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	12	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課	住宅施設係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
8・6・1	空家対策関係				3,972千円		3,972千円	3,984千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策目的	▶02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶5_総合的な空き家対策の推進
施策の方向	▶3_空き家の適正管理

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	空き家所有者の自発的な空き家除却を促進し、地域の住環境改善を図る。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
空家対策関係事業【重要事業】 ・ 空き家除却助成金 良好で快適な生活環境の形成を図るために、防災・防犯上危険な空き家を所有する者が、その空き家を除却する場合に、市が除却費用の一部を助成する。 ・ 空き家等の適正管理指導 空き家の周辺住民に影響を及ぼしている空き家所有者等に対し、適切な管理を促すため、情報の提供及び助言等を行うもの。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知	空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知	空家対策関係事業【重】 ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知
事業費		3,984	3,984	3,984
財源	国庫	900	900	900
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,084	3,084	3,084

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	空き家除却助成金利用件数（累計）	4	目標値	13	26	39	52	65
		単位：件	実績値	17	26	46	62	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和 6 年度予算額		4,560 千円		令和 6 年度決算額		4,480 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	主な事業						
	・ 令和 4 年度 空き家除却助成金		実績	不良住宅	2件		
				準不良住宅	7件		
	・ 令和 5 年度 空き家除却助成金		実績	不良住宅	1件		
				準不良住宅	19件		
・ 令和 6 年度 空き家除却助成金		実績	不良住宅	3件			
				準不良住宅	13件		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>空き家除却助成金制度の認知度が上がり、除却に係る相談や申請の件数が増加しており、除却助成金制度を継続することで、空き家所有者の関心を高めることが期待できる。</p> <p>その他適正管理に関しては、庁内関係課（地球環境課等）との協力体制を強化することで効果を向上させた。</p>					
課題	<p>空家対策に関しては適正管理と利活用を同時に進めていくことが望ましいが、どちらも思うように進まないのが現状である。その理由としては、適正管理に関しては、所有者の資金難や高齢化、さらには相続や所有者不明等の問題があり、利活用に関しては、立地面や建物の耐震性等の問題がある。また、空家は所有者等の個人の財産であることから、所有者等において適切な管理に努める責任があるため、行政の力だけで問題を解決するのは困難な状況である。</p>					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	<p>市内には相当数の空き家が存在することから、継続的に事業を行う必要があります。</p>					
令和8年度 事業計画	<p>・ 空家除却助成金 3,800,000円 上限600,000円 × 3件 = 1,800,000円 上限200,000円 × 10件 = 2,000,000円</p>					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和 6 年度事業】実施計画書

整理番号	13	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
4・2・1	環境衛生事業				7,485千円	9,070千円	9,039千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	害虫や狂犬病などから市民生活を守り、良好な生活環境を保全する。
----------------	---------------------------------

令和 6 年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①環境衛生事業
- ・狂犬病予防法に関する事務
狂犬病予防法に基づく犬の登録、狂犬病予防注射の実施
 - ・スズメバチの巣駆除
安全安心なまちづくりの一環として、危険なスズメバチの活動巣を駆除
 - ・犬、猫の避妊及び断種手術費補助
野犬、野良猫の発生抑制

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業 スケジュール	事業費	9,039	9,039	9,039
	国庫	0	0	0
	県費	506	506	506
	市債	0	0	0
	その他	3,010	3,010	3,010
財源		一般財源	5,523	5,523

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	予防注射接種率 (注射件数/登録件数)	77.9	目標値	81.9	84	86	88	90
		単位：%	実績値	76.4	60.5	76.6	53.9	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	8,665 千円	令和6年度決算額	7,198 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狂犬病予防注射件数 令和4年度：2,920件 令和5年度：4,700件 令和6年度：3,034件 ・ スズメバチ巣駆除委託件数 令和4年度：65件 令和5年度：33件 令和6年度：12件 ・ 犬猫避妊及び断種手術補助件数 令和4年度：278件 令和5年度：279件 令和6年度：301件 ・ 雑草等苦情処理件数 令和4年度：166件 令和5年度：172件 令和6年度：233件 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	狂犬病予防注射接種率が前年度から大幅に低下したのは、市内で犬を取り扱っている大規模事業者から予防接種 に関する届出がなされなかったためである（督促を行うも届出がなかったもの）。 当該事業者の登録件数を除けば、接種率は79.3%になる。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私有地における雑草や樹木の管理といった民事間の問題についての苦情が年々増えており、状況も複雑化して いることから、土地所有者の認識改善や地域課題として取組むなど、市民や関係機関の理解協力が必要である。 ・ 狂犬病予防注射接種率の改善に向けた啓発、地域猫活動団体以外の野良猫への餌やりによる環境悪化に対する 対策の継続が必要と考える。 				
【Action】 今後の 方向性 ・ 内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	市民の生活環境の維持・向上に向けて、狂犬病予防注射をはじめとした各種環境衛生事業を継続実施していく必要 があると考えます。				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犬の登録及び狂犬病予防注射の実施 ・ スズメバチ駆除業務 ・ 犬猫避妊及び断種手術補助 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	14	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
4・2・1	環境保健委員運営事業			8,787千円	8,588千円	8,659千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民の良好な生活環境の保全と保健衛生向上のため、各行政区に環境保健委員（任期2年）を置く。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①環境保健委員運営事業
- ・環境保健委員協議会の運営
常任委員会の開催
 - ・市内クリーン作戦の実施
 - ・視察研修
必要な知識と技術の向上を図るための視察研修
 - ・研修会及び意見交換会

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①環境保健委員運営事業 ・環境保健委員協議会の運営 ・市内クリーン作戦の実施 ・視察研修 ・研修会及び意見交換会	①環境保健委員運営事業 ・環境保健委員協議会の運営 ・市内クリーン作戦の実施 ・視察研修 ・研修会及び意見交換会	①環境保健委員運営事業 ・環境保健委員協議会の運営 ・市内クリーン作戦の実施 ・視察研修 ・研修会及び意見交換会
	事業費	8,659	8,659	8,659
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,659	8,659	8,659

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	常任委員会の開催	5	目標値	5	5	5	5	5
		単位：回	実績値	2	3	4	4	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	8,659 千円	令和6年度決算額	8,388 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・委員数 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度：139名 令和5年度：137名 令和6年度：136名 ・常任委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度：3回 令和5年度：4回 令和6年度：4回 ・クリーン作戦参加者数 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度：87名 令和5年度：70名 令和6年度：80名 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	環境保健委員協議会の活動について、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたことから活動を徐々に再開させてきている。今後も時機に応じた活動を進めていく。				
課題	委員の高齢化				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)				
	市民の生活環境の維持・向上という観点から環境保健委員の担う役割は大きく、ゴミの分別排出の指導や不法投棄の防止対策などについて継続実施していく必要があると考える。				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会の開催 ・市内クリーン作戦の実施 ・視察研修 ・研修会 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	15	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
4・2・1	鳥獣保護対策事業				1,030千円	1,047千円	1,132千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣保護法に基づき野生動物を保護し、生物多様性の確保及び自然生態系の維持を図る。 ・ 有害鳥獣による農業や生活環境への被害防止対策を図る。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ① 鳥獣保護対策事業
- ・ 越冬飛来白鳥の調査と保護
多々良沼及び城沼に飛来する白鳥について、白鳥を守る会と連携し飛来数を調査
飛来数が多くなる2月に一斉調査を実施
 - ・ 有害鳥獣捕獲の許可
農業や生活環境へ被害を及ぼす有害鳥獣の捕獲許可

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		① 鳥獣保護対策事業 ・ 越冬飛来白鳥の調査と保護 ・ 有害鳥獣捕獲の許可	① 鳥獣保護対策事業 ・ 越冬飛来白鳥の調査と保護 ・ 有害鳥獣捕獲の許可	① 鳥獣保護対策事業 ・ 越冬飛来白鳥の調査と保護 ・ 有害鳥獣捕獲の許可
事業費		1,132	1,132	1,132
財源	国庫	0	0	0
	県費	637	637	637
	市債	0	0	0
	その他	46	46	46
	一般財源	449	449	449

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	有害鳥獣捕獲許可件数	37	目標値	40	40	40	40	40
		単位：件	実績値	31	39	52	108	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,300 千円	令和6年度決算額	1,258 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・白鳥飛来数（日最大飛来数） 令和4年度：256羽（2月4日） 令和5年度：346羽（1月13日） 令和6年度：357羽（1月16日） ・鳥獣の捕獲許可件数及び捕獲数 令和4年度：39件、388頭・羽 令和5年度：52件、361頭・羽 令和6年度：108件、550頭・羽 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>有害鳥獣捕獲許可件数は、年度目標を上回っている。 有害鳥獣に関する相談件数が増えており、実際に捕獲される鳥獣の数も増えている。 生活環境等への被害防止を目的とした捕獲許可については継続する必要があると考える。</p>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣による被害減少を図るための防除方法の周知 ・農業被害を担当する農業振興課との連携強化 ・多々良沼野鳥観察棟の施設管理等の検討 				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<p>生活環境保全のため、鳥獣保護及び有害鳥獣対策は継続していく必要があると考える。</p>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣捕獲許可事業 ・越冬飛来白鳥の調査と保護 ・多々良沼野鳥観察棟の施設管理 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	16	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
4・2・1	クビアカツヤカミキリ撲滅事業				8,641千円	8,911千円	8,705千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民協働により、特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害拡大防止を図る。
----------------	-------------------------------------

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①クビアカツヤカミキリ撲滅事業

- ・ 駆除奨励金の交付
- ・ 防除用品の配布
- ・ 薬剤樹幹注入処理
- ・ 被害木の伐倒
- ・ 邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会の運営

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	①クビアカツヤカミキリ撲滅事業 ・ 駆除奨励金の交付 ・ 防除用品の配布 ・ 薬剤樹幹注入処理 ・ 被害木の伐倒 ・ 邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会の運営	①クビアカツヤカミキリ撲滅事業 ・ 駆除奨励金の交付 ・ 防除用品の配布 ・ 薬剤樹幹注入処理 ・ 被害木の伐倒 ・ 邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会の運営	①クビアカツヤカミキリ撲滅事業 ・ 駆除奨励金の交付 ・ 防除用品の配布 ・ 薬剤樹幹注入処理 ・ 被害木の伐倒 ・ 邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会の運営
	事業費	8,705	8,705	8,705
	財源			
	国庫	858	858	858
	県費	3,123	3,123	3,123
財源	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,724	4,724	4,724

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	クビアカツヤカミキリ捕殺数	6,648	目標値	7,765	8,324	8,882	9,441	10,000
		単位：匹	実績値	7,503	7,174	13,785	18,168	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	8,911 千円	令和6年度決算額	7,955 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・防除のための伐倒本数 令和4年度：11本、令和5年度：6本、令和6年度：7本 ・成虫の捕殺数 令和4年度：7,174匹、令和5年度：13,785匹、令和6年度：18,168匹 ・防除用薬剤配布数 令和4年度：31本、令和5年度：28本、令和6年度：37本 ・防除用防虫ネット配布数 令和4年度：164m、令和5年度：21m、令和6年度：59m ・樹幹注入処理 令和4年度：168本、令和5年度：181本、令和6年度：172本 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	市民協働によるクビアカツヤカミキリ成虫の捕殺数は年度目標を上回っている。 更なる被害拡大防止の観点から、当該撲滅プロジェクトの継続は必要であると考え。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業者へのさらなる周知と事業への協力依頼 ・被害拡大防止の為に薬剤樹幹注入や被害木伐倒には多額の費用を要するため、国や県に支援拡充の働きかけを継続する必要がある。 ・国の交付金事業は令和8年度以降は採択が厳しい状況となっており、伐倒事業の進め方を再考する必要がある。 				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	成虫捕殺への奨励金交付は、市民への注意喚起という意味では一定の効果を挙げてきた。 今後は、より根本的な対策として、発生源対策（被害木の伐倒、薬剤樹幹注入）へ主軸を置きたいと考える。				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・撲滅事業の推進（奨励金の交付、防除用品の配布、薬剤樹幹注入、被害木の伐倒） ・邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会による高校との連携、被害木伐倒後の補植の推進 				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	17	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課 環境政策係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
4・2・2	環境政策事業				12,274千円	11,782千円	11,900千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進
施策の方向	▶ 3_地球温暖化対策の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの普及、省エネルギーを推進し、地球温暖化防止及び本市の暑さ対策を推進する。 ・ 環境マネジメントシステム（EMS）の運用を通じて、第三次環境基本計画・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理、環境法令・環境リスク管理をおこない、地球環境にやさしい行政活動を推進する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①環境政策事業【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動対策 気候変動対策本部の運営（たてばやし5つのゼロ宣言・熱中症対策） 第三次環境基本計画・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 館林市蓄電池等設備設置補助金の交付 ・ 環境マネジメントシステムの運用 PDCAサイクルで継続的に改善を図り、職員の意識改革、日々の業務における環境配慮活動を促進する。 省エネ法、温対法、県条例への対応 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用 ・ 環境審議会の運営 良好で快適な環境の保全及び創造に関する重要事項について調査審議する。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①環境政策事業【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動対策 ・ 環境マネジメントシステムの運用 ・ 環境審議会の運営 	①環境政策事業【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動対策 ・ 環境マネジメントシステムの運用 ・ 環境審議会の運営 	①環境政策事業【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動対策 ・ 環境マネジメントシステムの運用 ・ 環境審議会の運営
事業費		11,900	11,900	11,900
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	725	718	245
	一般財源	11,175	11,182	11,655

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	【市民アンケート】環境にやさしい暮らしを 実践している市民の割合（現状値：平成30年 度）	93.6	目標値	95.0	95.4	95.9	96.4	96.8
		単位：%	実績値	96.5	96.6	98.8	97.6	
活動指標	第三次館林市環境基本計画施策の取組 達成状況（現状値：令和3年度）	51.4	目標値	60.0	62.5	65.0	67.5	70.0
		単位：%	実績値	65.2	63.4	68.5	68.5	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	10,400 千円	令和6年度決算額	9,063 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・環境パトロール用電気自動車の導入 ・ミスト発生装置（扇風機）貸出事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 10件 令和5年度 20件 令和6年度 22件 ・蓄電池設備設置補助事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度59件（定置用43件、ポータブル16件） 令和5年度53件（定置用43件、ポータブル10件） 令和6年度69件（定置用55件、ポータブル12件、V2H 2件） ・気候変動対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 2回（うち1回は書面開催） 令和5年度 2回（うち1回は書面開催） 令和6年度 1回 ・クールシェアスポット利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 20か所（市16、県・民間4） 令和6年度 24か所（市17、県・民間7） ・ウオームシェアスポット利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 1か所（民間1） 令和5年度 10か所（市 6、県・民間4） 令和6年度 22か所（市16、県・民間6） ・環境審議会 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 4回 令和5年度 2回 令和6年度 4回 ・館林市環境賞 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 2個人、3団体 令和5年度 1個人、2団体 令和6年度 1個人、2団体 ・環境ISO運用事業 <ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステム運用業務 環境監査業務 省エネ法等の各種法令対応業務 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、「環境にやさしい暮らしを実践している市民の割合」及び「環境基本計画施策の取組達成状況」とともに年度目標を上回ることができた。地域の脱炭素化の実現に向けて、今後さらに事業を推進していく必要があると考える。				
課題	温室効果ガスの削減や省エネの推進、気候変動対策については、地球規模の大きな課題であり、市民及び事業者の対策の積み重ねが大切である。これらの対策について市民一人一人の心に働きかけることで、行動変容を図っていくことに加え、市が地域の脱炭素化に対して積極的な姿勢を示し、地域の事業者に対して環境価値の高い経済活動への転換について促していくことが必要とされている。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	地球規模の気候変動に対応するため、地球温暖化防止対策について市が率先垂範して取り組み、市民・事業者とともに地域社会全体の脱炭素化を推進するための牽引役となる必要がある。 第三次館林市環境基本計画及び地球温暖化計画実行計画（事務事業編）に基づく取組を着実に進めるため、現在の事業の継続に加え、さらに温室効果ガス排出削減に寄与するための新しい取組について検討する。				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動対策 <ul style="list-style-type: none"> 気候変動対策本部の運営（たてばやし5つのゼロ宣言・熱中症対策） 第三次環境基本計画・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 館林市蓄電池設備等設置補助金の交付 公共施設等の再生可能エネルギー導入に向けた可能性調査の実施 ・環境マネジメントシステムの運用 <ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルで継続的に改善を図り、職員の意識改革、日々の業務における環境配慮活動を促進する。 省エネ法、温対法、県条例への対応 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用及び第6次計画の策定 ・環境審議会の運営 <ul style="list-style-type: none"> 良好で快適な環境の保全及び創造に関する重要事項について調査審議する。 				
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	18	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
4・2・2	環境調査事業			4,067千円	4,405千円	4,246千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 4_各種調査による状況把握及び指導による公害防止

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	水質・騒音等を調査・測定することで現状把握に努め、生活環境の保全対策を推進する。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①環境調査事業
・公共用水域水質調査 水質汚濁法に基づく県の測定計画に沿った公共用水域の水質調査
・騒音測定調査 環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」に定められた一般地域（道路に面する地域以外の地域）における騒音の環境基準の達成状況を把握するための調査
・自動車騒音常時監視 騒音規制法に基づく自動車騒音の常時監視事務（平成24年度より群馬県から移譲された法定受託事務）
・空間放射線量測定 安全・安心を確保するため、市内の空間放射線量を測定

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	4,246	4,246	4,246
	国庫	0	0	0
	県費	163	163	163
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
財源		一般財源	4,083	4,083

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	環境騒音測定超過か所数	0	目標値	0	0	0	0	0
		単位：か所	実績値	0	0	0	0	
活動指標	自動車騒音測定基準値達成率	98.1	目標値	98.4	98.55	98.7	98.85	99.0
		単位：%	実績値	98.8	99.1	99.2	98.1	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	4,246 千円	令和6年度決算額	3,334 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・食品放射性物質検査（学校給食等すべて含む） 令和4年度：73件（不検出）、令和5年度：63件（不検出） ※令和5年度末をもって検査終了（市民検査、学校給食等共に） ・空間放射線量測定 令和4年度：14か所を年1回（環境基準値0.23μSv以下）、令和5年度：9か所を年1回（基準値以下）、 令和6年度：9か所を年1回（基準値以下） ・専用水道等監視業務（立入検査） 令和4年度：2回、令和5年度：3回、令和6年度：0回 ・公共用水域水質調査 城沼中央部におけるBOD値（75%値） 令和4年度：9.0mg/L、令和5年度：9.6mg/L、令和6年度：6.9mg/L ・騒音測定調査（環境騒音） 令和4年度：8か所（基準値内）、令和5年度：8か所（基準値内）、令和6年度：8か所（基準値内） ・自動車騒音常時監視 令和4年度：4路線（同98.9%）、令和5年度：6路線（同99.2%）、令和6年度：6路線（同98.1%） 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	環境騒音測定超過か所数は年度目標どおり、自動車騒音測定基準値達成率については、年度目標を下回っている。 生活環境を保全する観点から、継続的な調査実施が必要であると考ええる。				
課題	水質浄化事業と関連するが、城沼（鶴生田川）の水質改善が進まないこと				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境調査事業」と「自然環境保全事業」を統合し「環境対策事業」に再編することにより、より柔軟な事業・予算執行を図る。 ・生活環境の保全に努めるため、環境調査及び測定を行い、市内の環境を取り巻く状況の把握に引き続き務める。 				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域水質調査 ・騒音測定調査 ・自動車騒音常時監視業務 ・空間放射線量測定 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	19	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
4・2・2	水質浄化対策事業				21,989千円	21,396千円	21,296千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	日本遺産「里沼」の水辺環境を後世に引継ぐため、生活排水対策として合併処理浄化槽への転換を推進するとともに、水辺環境保全に対する市民の意識啓発を図る。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①水質浄化対策事業【重要事業】

- ・合併処理浄化槽設置費補助
生活排水による水質汚濁を防止するため、単独処理浄化槽及びくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換に対し補助金を交付
- ・合併処理浄化槽管理費補助
浄化槽の適正な維持管理を図るため、浄化槽の清掃に対し補助金を交付
- ・水辺環境保全団体の活動支援
城沼サミット開催、加法師川清掃活動

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①水質浄化対策事業【重】 ・合併処理浄化槽設置費補助 ・合併処理浄化槽管理費補助 ・水辺環境保全団体の活動支援	①水質浄化対策事業【重】 ・合併処理浄化槽設置費補助 ・合併処理浄化槽管理費補助 ・水辺環境保全団体の活動支援	①水質浄化対策事業【重】 ・合併処理浄化槽設置費補助 ・合併処理浄化槽管理費補助 ・水辺環境保全団体の活動支援
事業費		21,296	21,296	21,296
財源	国庫	10,020	10,020	10,020
	県費	5,880	5,880	5,880
	市債	0	0	0
	その他	14	14	14
	一般財源	5,382	5,382	5,382

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	BOD数値（城沼中央の水質）	8.3	目標値	7.2	6.65	6.1	5.55	5以下
		単位：mg/L	実績値	6.0	9.0	9.6	6.9	
活動指標	合併処理浄化槽設置費補助件数	17	目標値	30	30	30	30	30
		単位：件	実績値	30	26	30	20	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	21,296 千円	令和6年度決算額	13,564 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽設置費整備事業補助件数 令和4年度：26件 令和5年度：30件 令和6年度：20件 ・浄化槽維持管理費補助件数 令和4年度：40基 令和5年度：39基 令和6年度：31基 ・城沼サミット参加者数 令和4年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和5年度：市民会議が活動休止中のため開催中止 令和6年度：市民会議が活動休止中のため開催中止 ※令和6年度末をもって「城沼を考える市民会議」解散 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>城沼中央部BODは年度目標を下回る結果となった。 城沼・鶴生田川の水質浄化に向けて、合併浄化槽転換を中心とした生活排水処理対策をさらに推進していく必要がある。</p>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水処理の実態把握と、その状況に応じた施策を展開し市民の水質浄化に対する意識啓発を図る必要がある。 ・近年、古城沼での水質悪化が進んでいるため、県や関係機関と連携し原因究明と対策を講じる必要がある。 				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)				
	<p>合併浄化槽への転換を推進し水質浄化を図るため、国の循環型社会形成推進交付金を活用した補助事業を継続していく必要があると考える。 また、多々良沼からの導水事業等を含めた対策について、県土木事務所と協議を進め、より効果的な方法を模索する。</p>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽設置費補助 ・合併浄化槽清掃費補助 ・水辺環境保全団体の活動支援 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	20	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
4・2・2	自然環境保全事業			1,883千円	2,044千円	1,735千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇沼湿原における水辺環境保全、里山の復元及びこの地域に自生していた貴重な動植物の再生を目指す。 ・雨水を水資源として活用することによる地下水保全・地盤沈下対策及び雨水の一時貯留、地下浸透による雨水排水対策を図る。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①自然環境保全事業
- ・上赤生田学びの森整備
下草刈り、葎焼き
 - ・雨水浸透柵等設置補助
雨水の流出抑制を図るため、雨水貯留施設及び雨水浸透施設の設置に対し補助金を交付

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①自然環境保全事業 ・上赤生田学びの森整備 ・雨水浸透柵等設置補助	①自然環境保全事業 ・上赤生田学びの森整備 ・雨水浸透柵等設置補助	①自然環境保全事業 ・上赤生田学びの森整備 ・雨水浸透柵等設置補助
	事業費	1,735	1,735	1,735
	国庫	0	0	0
	県費	250	250	250
	市債	0	0	0
財源	その他	0	0	0
	一般財源	1,485	1,485	1,485

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	雨水浸透柵設置費補助件数	32	目標値	38	41	44	47	50
		単位：基	実績値	34	73	49	73	
活動指標	雨水貯留槽設置費補助件数	1	目標値	4	6	7	9	10
		単位：件	実績値	5	3	1	1	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	1,735 千円	令和6年度決算額	1,203 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・上赤生田学びの森整備事業 (四中の森下草刈り・葦焼き参加者数) 令和4年度: 4回 7名 令和5年度: 4回 8名 令和6年度: 5回 7名 (その他、企業参加24名) ・雨水浸透枡等設置補助事業 令和4年度: 浸透枡 73基、貯留槽 3件 令和5年度: 浸透枡 49基、貯留槽 1件 令和6年度: 浸透枡 73基、貯留槽 1件 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	雨水浸透枡設置費補助基数は年度目標を上回っているが、雨水貯留槽設置費補助基数は下回る状態が続いている。 雨水の有効利用促進及び地下水保全のために、補助事業を継続し、周知啓発を継続する必要があると考える。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・上赤生田学びの森を整備する里山育成ボランティアの高齢化及び参加人数の減少。 ・蛇沼湿原の今後の維持管理方針の検討。 ・雨水浸透枡等設置補助の更なる周知啓発。 				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境調査事業」と「自然環境保全事業」を統合し「環境対策事業」に再編することにより、より柔軟な事業・予算執行を図る ・蛇沼湿原の水辺環境維持及び市全域における地下水保全のため、これらの事業を継続していく必要があると考える。 				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・上赤生田学びの森整備 ・雨水浸透枡等設置補助 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	21	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
4・3・3	地域し尿処理施設維持管理			26,970 千円	26,142 千円	25,825 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が良好な環境のなかで安全安心に生活できるまちづくりに貢献するため、分福地域し尿処理施設及び大島地域し尿処理施設の適切な維持管理に努める。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①地域し尿処理施設（分福・大島）の維持管理
 污水处理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）を実施

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		污水处理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）R2～6年度	污水处理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）	污水处理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）
	事業費	25,825	25,825	25,825
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	25,825	25,825	25,825
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	分福地域し尿処理施設 放流水質BOD（≦基準値20mg/L）	1.3	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		単位：mg/L	実績値	2.2	1.5	1.0	1.4	
活動指標	大島地域し尿処理施設 放流水質BOD（≦基準値20mg/L）	6.6	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		単位：mg/L	実績値	3.0	3.8	3.2	2.5	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	25,825千円	令和6年度決算額	22,262千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<div> <div>委託料</div> <div>工事請負費</div> </div> <div> <div>令和4年度</div> <div>19,942千円</div> <div>2,486千円</div> </div> <div> <div>令和5年度</div> <div>19,942千円</div> <div>902千円</div> </div> <div> <div>令和6年度</div> <div>20,245千円</div> <div>737千円</div> </div> <div>R6：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）等</div>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域し尿処理施設は、周辺の住民にとって必要不可欠な施設であり、今後も適切に維持管理を行い、存続させる必要がある。 施設の運転維持管理業務については、水質管理センター等と一体的に包括業務委託を実施している。（令和2年度から6年度までの5か年間）				
課題	施設の老朽化が著しいことから、補修箇所の調査検討を行い、更新計画に従い適切な機器更新を行う必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の更新計画に従い、機器の更新や老朽化対策に取り組む。 地域し尿処理施設の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。 				
令和8年度 事業計画	①地域し尿処理施設（大島）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託の継続（地域し尿処理施設）				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	22	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
下水道事業会計	管渠管理費（公共）			17,373 千円	17,614 千円	17,938 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め.自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道管きよを市民が安全安心に利用できるよう、定期的な清掃業務や点検・補修といった維持管理に努める。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草
	事業費	17,938	17,938	17,938
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
財源	その他	17,938	17,938	17,938
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	汚水管きよ清掃延長	1,622	目標値	2,081	2,311	2,540	2,770	3,000
		単位：m	実績値	2,523	2,339	2,659	6,086	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	17,938 千円	令和6年度決算額	13,015 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年		委託料	修繕費	
	令和4年度	3,971千円	7,039千円	
	令和5年度	4,147千円	4,037千円	
	令和6年度	4,730千円	8,107千円	
	R6：汚水管清掃業務委託、雨水きょ除草業務委託、下水道マンホール蓋等修繕 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	管きよの維持管理は、汚水管きよ及び雨水きよの定期的な維持補修が必須であり、継続させる必要がある。					
課題	下水管きよに土砂等がたまり、汚水や雨水の流れを妨げることはないよう、定期的な清掃・点検・補修が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・ 定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。					
令和8年度 事業計画	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	23	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
下水道事業会計	ポンプ場管理費（公共）			6,201 千円	7,033 千円	6,572 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	尾曳污水中継ポンプ場、高根污水中継ポンプ場については、自然流下のため各ポンプ施設で高所に下水を汲み上げている。多々良沼雨水ポンプ場については、農繁期において多々良沼からの揚水、又大雨時に多々良沼への排水としての役割がある。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 ・高根・尾曳污水中継ポンプ場機器修繕 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
	事業費	6,572	6,572	6,572
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
財源	その他	6,572	6,572	6,572
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	6,572 千円	令和6年度決算額	2,921 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<div> <div>委託料</div> <div>修繕費</div> </div> <div> <div>令和4年度</div> <div>1,166千円</div> <div>一千円</div> </div> <div> <div>令和5年度</div> <div>1,166千円</div> <div>一千円</div> </div> <div> <div>令和6年度</div> <div>1,166千円</div> <div>一千円</div> </div> <div> R6：多々良沼雨水ポンプ場維持管理業務委託 等 (尾曳・高根中継ポンプ場の運転管理は、水質管理センター包括業務委託に含む。) </div>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	汚水の中継する施設及び雨水を揚水・排水する施設の維持管理は、適切な汚水、雨水処理のために継続的に必要である。
課題	平成18年に供用開始された高根汚水中継ポンプ場は比較的修理や補修は少ないものの、昭和61年に供用開始された尾曳汚水中継ポンプ場については、施設の老朽化が課題となっている。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。 ・尾曳・高根中継ポンプ場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。
令和8年度 事業計画	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託の継続（公共下水道処理施設） ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	24	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
下水道事業会計	処理場管理費（公共・特定）			331,201 千円		329,372 千円	372,124 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公共下水道は住環境の改善、河川等の水質向上を担っており、市民が衛生的で快適な暮らしを実現するために欠かすことのできない施設であるため、適切な施設の維持管理に努める。 近藤処理区は工場排水を受け入れ近藤川へ放流するため、適切な施設の維持管理や工場排水の水質基準の監視に努める。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①水質管理センターの維持管理
②近藤処理場の維持管理
汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）を実施

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）R2～6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）
	事業費	372,124	372,124	372,124
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	372,124	372,124	372,124
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	水質管理センター 放流水質BOD（≦基準値15mg/L）	3.2	目標値	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下
		単位：mg/L	実績値	3.7	3.3	3.0	2.9	
活動指標	近藤処理場 放流水質BOD（≦基準値15mg/L）	3.8	目標値	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下
		単位：mg/L	実績値	5.2	3.4	2.7	2.8	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	372,124 千円	令和6年度決算額	307,834 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	処理場管理費（水質管理センター・近藤処理場） 委託料 修繕費 令和4年度 253,797千円 66,055千円 令和5年度 262,812千円 62,733千円 令和6年度 272,281千円 35,068千円 R6：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）、 脱水ケーキ場外搬出、処分業務委託、水質管理センター汚泥供給ポンプ等修繕 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	水質管理センターは、公衆衛生を向上させ汚水を適切に処理する施設であるため、今後も適切な維持管理を継続していく必要がある。 近藤処理場は、工場排水を受け入れ近藤川へ放流する施設であるため、適切な施設の維持管理や工場排水の水質基準の監視を継続していく必要がある。				
課題	公共下水道が昭和49年、特定公共下水道が昭和44年に供用開始してから概ね50年が経過しており、老朽化する施設の修繕費用の増大が課題である。また、河川の水質を向上するため、適切な下水処理場の運転を行っていく必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・耐用年数を超過した機器や設備等の改修及び修繕に取り組む。 ・水質管理センター及び近藤処理場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。				
令和8年度 事業計画	①水質管理センターの維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託の継続（公共下水道処理施設） ②近藤処理場の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託の継続（公共下水道処理施設）				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	25	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 管理係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
下水道事業会計	総係費			33,128 千円	49,104 千円	55,721 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道事業の総係費 下水道法に基づく本市の処理区域内において、公共下水道の接続促進を図る。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①水洗便所改造費補助金交付事業

公共下水道に接続するため、水洗便所に改造する工事を行う者に対して補助金を交付する。

（補助金額）

- ・ 供用開始日と公示された日から1年以内に公共下水道に接続した場合 30,000円
- ・ 供用開始日と公示された日から2年以内に公共下水道に接続した場合 20,000円
- ・ 供用開始日と公示された日から3年以内に公共下水道に接続した場合 10,000円

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①水洗便所改造費補助金交事業 事業費 440千円	①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 440千円	①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 440千円
	事業費	55,721	55,721	55,721
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	55,721	55,721	55,721
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	水洗便所改造費補助金交付件数	2	目標値	4	5	6	7	8
		単位：件	実績値	10	5	1	13	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	55,721 千円	令和6年度決算額	47,964 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・水洗便所改造費補助 令和4年度： 5件 100千円 令和5年度： 1件 30千円 令和6年度： 13件 380千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	水洗便所改造費補助金は、排水設備工事を行う市民の負担を軽減し、下水道の接続促進に一定の効果があると考えられるため、継続的に実施する必要がある。					
課題	使用料収益の増加を図り事業の財源を確保するため、経常経費を削減し、補助制度の周知に努めながら下水道未接続者へ早期の接続を促していくことが必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・使用料収益増のため、引き続き下水道未接続者へ接続を促していく。					
令和8年度 事業計画	①水洗便所改造費補助金交付事業					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	26	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
下水道事業会計	処理場管理費（農集）			24,013 千円		23,643 千円	21,630 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業用水の水質保全及び生活環境の向上のため、下早川田地区は平成11年、木戸地区は平成17年に供用開始。その後、農業振興課より維持管理の引継ぎを受ける。安定的な経営のため、接続促進と適切な施設の維持管理に努める。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①農業集落排水処理施設（下早川田・木戸）の維持管理
汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）を実施

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業 スケジュール		污水处理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）R2～6年度	污水处理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）	污水处理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）
事業費		21,630	21,630	21,630
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	9,628	9,628	9,628
	一般財源	12,002	12,002	12,002

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	下早川田地区農業集落排水施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L)	2.6	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		単位：mg/L	実績値	4.2	3.6	3.8	3.0	
活動指標	木戸地区農業集落排水施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L)	1.6	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		単位：mg/L	実績値	1.3	3.1	4.0	2.7	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	21,630千円	令和6年度決算額	21,333千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年				
		委託料	修繕費	
	令和4年度	15,660千円	6,655千円	
	令和5年度	15,077千円	2,695千円	
	令和6年度	15,077千円	6,226千円	
	R6：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）、下早川田処理場破砕機等修繕 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	農業地域の住民の生活環境を保全するために、処理施設は引き続き必要である。 施設の運転維持管理業務については、水質管理センター等と一体的に包括業務委託を実施している。（令和2年度から6年度までの5か年間）
課題	処理施設の運用から26年が経過しているため、ポンプ等の機械類のメンテナンス（交換）が、更新計画に基づいて必要である。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	・施設の更新計画に従い、機器の更新や老朽化対策に取り組む。 ・農業集落排水施設の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。
令和8年度 事業計画	①農業集落排水施設（下早川田・木戸）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託の継続（農業集落排水施設）
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	27	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）		当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
下水道事業会計	管渠整備費（公共）			475,565 千円		459,476 千円	461,161 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶4_排水施設整備による被害防止
	▶5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	衛生的で快適な生活環境の向上及び河川や沼の水質保全に寄与するため、汚水きよの整備を計画的に進める。また、発生が懸念される集中豪雨による浸水被害を防止するべく、雨水きよの整備を計画的に進め、安全安心なまちをつくる。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
管きよ整備費（公共）【重要事業】	
①汚水きよの整備（分福地域し尿処理施設の統廃合）	
②雨水きよの整備	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール	事業費	管きよ整備費（公共）【重】 ①汚水きよの整備 ②雨水きよの整備	管きよ整備費（公共）【重】 ①汚水きよの整備 ②雨水きよの整備	管きよ整備費（公共）【重】 ①汚水きよの整備 ②雨水きよの整備
		461,161	461,161	461,161
	財源			
	国庫	177,560	177,560	177,560
	県費	0	0	0
財源	市債	242,100	242,100	242,100
	その他	41,501	41,501	41,501
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	公共下水道雨水きよの整備率	74.4	目標値	74.8	75.0	75.2	75.4	75.6
		単位：%	実績値	70.2	70.6	71.1	71.3	
総合計画指標	下水道水洗化率	89.6	目標値	90.2	90.5	90.8	91.1	91.4
		単位：%	実績値	90.8	91.0	91.6	92.0	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	531,290千円	令和6年度決算額	430,546千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年				
		委託料	工事請負費	
	令和4年度	47,349千円	343,562千円	
	令和5年度	40,315千円	441,213千円	
	令和6年度	100,100千円	329,461千円	
	R6：汚水管きょ実施設計業務委託、汚水管築造工事、汚水幹線築造工事、雨水幹線築造工事 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	未整備地区の整備が必要なうえ、今後は耐用年数（50年）を経過する管きょが急速に増加してくる。管きょの老朽化は社会的影響も大きいため、早急な対応が必要であり、管路ストックマネジメント計画に基づき調査、点検、改築事業を計画的に進める必要がある。				
課題	市民の日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生等を未然に防ぐため、調査、点検を実施し、予防保全型の計画的、効率的な維持管理を進めていく。施設の健全度により、多額の改築費が必要となってくる。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・下水道管きょの整備及び下水道の維持・更新を効率的に推進していく。				
令和8年度 事業計画	①汚水きょの整備 ②雨水きょの整備				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	28	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
下水道事業会計	処理場建設費（公共・特定）			197,881 千円	434,928 千円	184,701 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公共が昭和49年、特定が昭和44年に供用を開始し、経年により老朽化している処理場施設の整備費（建設及び改築更新費）に関する経費。近年は、平成25年度に「館林市水質管理センター長寿命化計画」、平成29年度に「館林市ストックマネジメント計画」を策定し、順次改築更新事業を進めている。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①水質管理センターの更新事業（中継ポンプ場含む） ・ストックマネジメント計画に基づく施設更新工事委託 ②近藤処理場の更新事業	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①水質管理センターの更新事業 ②近藤処理場の更新事業	①水質管理センターの更新事業 ②近藤処理場の更新事業	①水質管理センターの更新事業 ②近藤処理場の更新事業
	事業費	184,701	184,701	184,701
	国庫	37,940	37,940	37,940
	県費	0	0	0
	市債	124,900	124,900	124,900
財源	その他	21,861	21,861	21,861
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	316,181千円	令和6年度決算額	214,662千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	(公共) 主な事業 水質管理センター送風機用電動機更新工事 (令和5年度からの繰越) 施設工事等委託 (日本下水道事業団) 令和4年度: 100,800千円 令和5年度: 343,975千円 令和6年度: 76,920千円 ・水質管理センター機械棟及び最初沈殿池他の実施設計等の作成委託 (令和5年度～令和6年度) (特定) 工事請負費 近藤処理場硫酸タンク更新工事等 (令和6年度) 令和4年度: 2,981千円 令和5年度: 11,880千円 令和6年度: 4,862千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	水質管理センター等の改築更新工事は、施設のストックマネジメント計画を策定し、計画的に実施することで、適正な維持管理を行うことができる。				
課題	処理場（公共・特定）の老朽化が著しく、更新費用も今後更に増加すると見込まれるため、国の交付金や地方債を活用し、財源を確保する必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・「館林市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、計画的に施設の更新、改築事業を進めていく。				
令和8年度 事業計画	①水質管理センターの更新事業（中継ポンプ場含む） スtockマネジメント計画に基づく施設更新工事委託 ②近藤処理場の更新事業				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	29	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
下水道事業会計	管渠・処理場建設費（農集）				6,809 千円	10,581 千円	11,164 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業用水の水質保全及び生活環境の向上のため、下早川田地区は平成11年、木戸地区は平成17年に供用開始。その後、農業振興課より維持管理の引継ぎを受ける。安定的な施設の維持管理のために施設の適切な更新工事を実施する。
令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①管渠整備費 ②処理場建設費 ・機器交換工事	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①管渠整備費 ②処理場建設費 ・機器交換工事	①管渠整備費 ②処理場建設費 ・機器交換工事	①管渠整備費 ②処理場建設費 ・機器交換工事
	事業費	11,164	11,164	11,164
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
財源	市債	0	0	0
	その他	11,164	11,164	11,164
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	11,164千円	令和6年度決算額	8,118千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>工事請負費</p> <p>令和4年度 2,640千円</p> <p>令和5年度 9,669千円</p> <p>令和6年度 8,118千円</p> <p>R6：木戸処理場第2中継ポンプ更新工事 等</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	農業地域の住民の生活環境を保全するために、処理施設は引き続き必要である。 施設の更新を毎年計画的に実施することで、施設の適正な維持管理を行うことができる。				
課題	処理施設やマンホールポンプ等の機械類のメンテナンス（交換）が更新計画に基づいて必要である。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	・施設の更新計画に従い、機器の更新や老朽化対策に取り組む。				
令和8年度 事業計画	①管渠整備費 ポンプ更新工事 ②処理場建設費 機器交換工事				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	30	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 資源対策係
款・項・目	事業名			当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）	
4・3・1	ごみ収集処理事業			377,255 千円	391,947千円	393,668千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶1_ごみを減らす（産まない）仕組みづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	家庭ごみを安定的・効率的に収集するとともに資源化を推進することにより、生活環境の保全を図り、持続可能な循環型社会を形成する。
----------------	--

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①ごみ収集処理事業

- ・ごみ収集業務
ごみステーションに出されるごみ（燃やせるごみ、燃やせないごみ・資源物、プラスチック）や公民館等で回収される蛍光管を収集し、ごみ処理施設まで運搬する。
- ・資源化等業務
ごみステーションに出されるガラスびん、缶、ペットボトルを資源化する。
- ・施設保守管理業務
最終処分場の埋立地や浸出水処理施設の維持管理を行う。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度		
事業 スケジュール		①ごみ収集処理事業 ▪ごみ収集業務 ▪資源化等業務 ▪施設保守管理業務	①ごみ収集処理事業 ▪ごみ収集業務 ▪資源化等業務 ▪施設保守管理業務 ▪最終処分場整備	①ごみ収集処理事業 ▪ごみ収集業務 ▪資源化等業務 ▪施設保守管理業務 ▪最終処分場整備		
		事業費	393,668	394,348	412,248	
		財源	国庫	376	376	376
			県費	0	0	0
			市債	0	0	0
その他	25,482		25,482	25,482		
一般財源		367,810	368,490	386,390		

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	【市民アンケート】ごみ処理・リサイクル（収集・処理、再利用など）の満足度	49.4	目標値	-	-	53.4	54.4	55.4
		単位：%	実績値	-	-	-	54.7	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和6年度予算額	393,668千円	令和6年度決算額	391,014千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集業務（委託収集量） <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度：可燃ごみ 14,295 t、資源物・不燃ごみ 2,965 t 令和5年度：可燃ごみ 14,019 t、資源物・不燃ごみ 2,737 t 令和6年度：可燃ごみ 13,871 t、資源物・不燃ごみ 2,594 t ・資源化等業務（資源化率※） <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度：69.5%（2,062 t） 令和5年度：69.0%（1,888 t） 令和6年度：67.3%（1,745 t） ※資源物・不燃ごみに占める紙類、びん、かん、ペットボトル、リユース品の割合 ・施設保守管理業務（最終処分場水質分析） <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度：基準超過あり 令和5年度：基準超過あり 令和6年度：基準超過あり ・最終処分場埋立工事【新規】 <ul style="list-style-type: none"> 館林市一般廃棄物最終処分場の埋立てに向け、県と協議。その結果、「一般廃棄物処理施設変更届」の手続きが必要との指導を受け、「生活環境影響調査」及びその「縦覧」を終え、変更届を提出するにいたり、手続きを着実に進められた。 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<p>ごみ処理事業を効率的・安定的に行うため、ごみの収集運搬及び資源化等事業の委託業務について適正に執行し監督した。</p> <p>ごみステーション管理システムの熟度を高め、住民からの問い合わせ等に迅速に対応することができた。</p> <p>最終処分場の埋立てに向け「生活環境影響調査」や「縦覧」を行い、「一般廃棄物処理施設変更届」の手続きを終えることができた。</p>				
課題	<p>宅地分譲や集合住宅の新設に伴いごみステーションの数が増え、収集効率が悪くなっている。</p> <p>外国人居住者の排出状況、分別状況が適切でない地区がある。</p> <p>違反ごみの排出が無くならない。</p>				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<p>効率的に収集を行うためには、ごみステーション管理システムの積極的な運用により、統廃合を進める必要がある。また、袋出しのモデル地区等の実施を検討し、総合的な検証、情報収集を進める。</p> <p>違反ごみの搬出防止のため、行政区役員等と連携し地域に根差した排出ルール等について住民への周知徹底を図る必要がある。</p> <p>最終処分場について、引き続き県と協議を進め、埋立完了（廃止）に向け各手続き、工事に着手する。</p>				
令和8年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集業務 <ul style="list-style-type: none"> ごみステーションに出されるごみ（燃やせるごみ、燃やせないごみ・資源物、プラスチック）や公民館等で回収される蛍光管を収集し、ごみ処理施設まで運搬する。 ・資源化等業務 <ul style="list-style-type: none"> ごみステーションで回収するガラスびん、缶、ペットボトルを資源化する。 ・施設保守管理業務 <ul style="list-style-type: none"> 最終処分場の埋立地や浸出水処理施設の維持管理を行うと共に埋立完了（廃止）に向け事務を進める。 				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	31	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課 資源対策係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
4・3・1	ごみ減量化事業				17,619千円	12,165千円	12,462千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶ 2_地域と行政が一体となった普及啓発

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及啓発により、ごみの減量化、分別の徹底、適正処分に対する意識醸成・行動変容を促進し、持続可能な循環型社会を形成する。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①ごみ減量化事業【重要事業】

- ・ごみ減量化器具購入費助成金
生ごみ処理槽、生ごみ処理容器、生ごみ処理機の購入費の一部を助成する。
- ・再生資源集団回収事業助成金
集団回収を行う団体に対し、回収量に応じた助成金を交付する。
- ・廃棄物減量等推進員
地域での3 Rの普及啓発を図るため、区長等に委嘱するとともに活動を支援する。
- ・廃棄物減量等推進審議会
市民や事業者で構成される審議会で3 R施策・計画を審議する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業スケジュール		①ごみ減量化事業【重】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 ・再生資源集団回収事業助成金 ・廃棄物減量等推進員 ・廃棄物減量等推進審議会	①ごみ減量化事業【重】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 ・再生資源集団回収事業助成金 ・廃棄物減量等推進員 ・廃棄物減量等推進審議会	①ごみ減量化事業【重】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 ・再生資源集団回収事業助成金 ・廃棄物減量等推進員 ・廃棄物減量等推進審議会
事業費		12,462	12,462	12,462
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	8,127	8,127	8,127
	一般財源	4,335	4,335	4,335

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	1人1日当たりのごみ排出量 ※新ごみ処理基本計画の策定により、令和5年度から目標値変更	944	目標値	795	756	922	909	896
		単位：g/人・日	実績値	935	930	912	916	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	12,462千円	令和6年度決算額	6,816千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化器具購入費助成金（基数：処理槽／処理容器／処理機） 令和4年度：14基／7基／2基 令和5年度：9基／5基／5基 令和6年度：10基／2基／5基 ・再生資源集団回収助成金（組合実績） 令和4年度：361件、690,094kg 令和5年度：328件、583,287kg 令和6年度：281件、491,384kg ・廃棄物減量等推進員会議 令和4年度：165名（新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止） 令和5年度：197名 令和6年度：174名 ※令和2年度まで年一回大会開催 ・廃棄物減量等推進審議会 令和4年度：2回、令和5年度：1回、令和6年度：1回 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	1人1日当たりのごみ排出量について、目標値には届かなかった。現状値はクリアしたが令和5年度実績よりは微増となっており、概ね減量化の取組成果が出ているが一層の取組が必要である。 ごみ減量化器具購入費助成金は前年実績を下回る傾向が続き、減量化の推進の大きな課題となっている。再生資源集団回収助成金は概ね横ばい傾向が続き、一層の取組が必要である。 廃棄物減量等推進会議を1回開催（66行政区174人参加：3日間6回に分け実施）し、ごみの減量化やごみ出しマナーについて新任者研修を行い課題解決に向けた情報の共有を図ることができた。					
課題	それぞれの行政区においてごみ問題に対する意識や活動に温度差がある。 減量及び資源化率を高めるため、新たな資源化を検討する必要がある。 減量化に加え、食品ロスやプラスチックごみの削減が国際的な課題となっている。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 （ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	更に減量化を推進するため、ごみ減量化器具の対象となる新機種の検討、購入店の拡大や再生資源集団回収助成金の単価見直しの検討をする。 引き続き、廃棄物減量等推進員会議を通してごみの減量化やごみ出しマナーについて情報の共有を図っていく。 国の方針や県の取組と整合を図りながら、より一層の減量化に向けた取組を推進していく。					
令和8年度 事業計画	①ごみ減量化事業【重要事業】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 生ごみ処理槽、生ごみ処理容器、生ごみ処理機の購入費を一部助成する。 ・再生資源集団回収事業助成金 集団回収を行う団体の活動を支援する。 ・廃棄物減量等推進員 地域での3Rの普及啓発を図るため、区長等に委嘱し、活動を支援する。 ・廃棄物減量等推進審議会の運営 市民や事業者で構成される審議会で3R施策・計画を審議する。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	32	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 資源対策係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
4・3・1	館林衛生施設組合負担金（ごみ処理）				872,605千円	868,210千円	877,673千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶ 3_効率的なごみ処理施設の運営

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	広域ごみ処理施設の安定的・効率的な運営、リサイクルの推進により、ダイオキシン、二酸化炭素、最終処分などの環境負荷の低減を図る。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ① 広域ごみ処理施設の運営費負担金
・ 長期包括運営委託（令和元年度～令和15年度（15年間））
たてばやしクリーンセンター
いたくらリサイクルセンター
めいわエコパーク
たてばやしストックヤード
- ② 施設整備の地方債償還負担金
・ 長期債償還（平成26年度～令和14年度（19年間））
たてばやしクリーンセンター
いたくらリサイクルセンター
めいわエコパーク

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		① 広域ごみ処理施設の運営 ・ 長期包括運営委託	① 広域ごみ処理施設の運営 ・ 長期包括運営委託	① 広域ごみ処理施設の運営 ・ 長期包括運営委託
		② 施設整備の地方債償還 ・ 長期債償還	② 施設整備の地方債償還 ・ 長期債償還	② 施設整備の地方債償還 ・ 長期債償還
事業費		877,673	877,673	877,673
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	877,673	877,673	877,673

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指 標	リサイクル率 ※新ごみ処理基本計画の策定により、令和5 年度から目標値変更	20.8	目標値	31.8	33.19	19.6	20.3	21.0
		単位：%	実績値	18.9	18.6	18.3	17.3	
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	877,673 千円	令和6年度決算額	877,673 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>・ごみ処理分（本市からの搬入量） 令和4年度：22,598 t（1市2町の78.7%） 令和5年度：22,324 t（1市2町の78.9%） 令和6年度：22,442 t（1市2町の79.2%）</p> <p>・ごみ処理施設建設分 平成29年度 たてばやしクリーンセンターの稼働開始（完成は平成28年度） いたくらリサイクルセンターの稼働開始（完成は平成28年度） めいわエコパークの完成・埋立開始</p> <p>※館林市第6次総合計画及び第三次館林市環境基本計画に基づき、廃棄物の適正処理及び循環型社会の形成を推進するための個別計画として、新たに令和14年度を計画目標年度とした「館林市ごみ処理基本計画」を令和5年2月に策定した。 計画においてリサイクル率の目標値は、現状に即して見直しを行い、令和7年度では21%、令和14年度では26.8%としている。</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C				
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	一般廃棄物処理広域化実施計画及び循環型社会形成推進地域計画に基づく事業であり、今後も組合によるごみ処理施設の運営は不可欠な事業である				
課題	1市2町（館林市、板倉町、明和町）のごみ処理を行う館林衛生施設組合は、施設運営を長期包括委託により実施しており、民間のノウハウを活用した効率的な運営に努めているが、住民対応やコスト意識に対する取組について、負担金を支出する立場として運営状況を注視していく必要がある。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	<p>構成団体として、処理状況や施設運営の改善について、協働・連携して取り組む。</p> <p>・住民対応力の向上 ・ごみ処理手数料の滞納対策 ・処理施設としての3Rや適正処理の普及啓発 ・処理方法の調査研究</p>				
令和8年度 事業計画	<p>①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託 令和元年度～令和15年度（15年間） たてばやしクリーンセンター／いたくらリサイクルセンター／めいわエコパーク たてばやしストックヤード</p> <p>②施設整備の地方債の償還 ・長期債償還 平成26年度～令和14年度（19年間） たてばやしクリーンセンター／いたくらリサイクルセンター／めいわエコパーク</p>				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					

【令和6年度事業】実施計画書

整理番号	33	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境政策係
款・項・目	事業名				当初予算額（R4）	当初予算額（R5）	当初予算額（R6）
4・3・2	館林衛生施設組合負担金（し尿処理）				193,988千円	139,315千円	141,419千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	1市3町（館林市・板倉町・明和町・千代田町）が共同でし尿処理を行うことにより、し尿処理施設の合理化を図る。
----------------	---

令和6年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①館林衛生施設組合負担金（し尿処理）
・運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業 スケジュール		①館林衛生施設組合負担金 ・運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金	①館林衛生施設組合負担金 ・運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金	①館林衛生施設組合負担金 ・運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金
	事業費	141,419	141,419	141,419
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	141,419	141,419	141,419

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和6年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和6年度予算額	141,419 千円	令和6年度決算額	141,419 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	館林衛生施設組合負担金（し尿分） 令和4年度 158,064千円 令和5年度 138,613千円 令和6年度 141,419千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無 について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にあ る	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	し尿及び浄化槽の汚泥について、引き続き安定的に処理する必要がある。				
課題	施設（館林環境センター）を長寿命化するため、令和3年度～令和4年度の2か年で基幹的設備改良事業を行っ た。 今後は長寿命化総合計画（施設保全計画）に基づき、施設・設備・危機の適切な維持管理・補修等の整備を行 い、施設全体の延命化を図っていくことから、そのための事業費が必要となる。				
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）				
	継続実施していく必要がある。				
令和8年度 事業計画	運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金				
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較				
備考					